

2023年度 日本工学院専門学校											
演劇スタッフ科											
スタッフワークショップ3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	240	単位	8
担当教員	寺嶋陽子・山本浩二・鶴巻一弘 山田岳史・増田有示			実務 経験	有	職種	舞台スタッフ				
担当教員紹介											
業界で15年間スタッフワークの経験あり。コンサート・イベント、放送、舞台の美術を中心に打ち合わせから、図面について、施工納品までの実務経験を持つ。現場実務に必要な高所作業、木工加工、有機溶剤取り扱いの技能講習修了。											
授業概要											
学生が、より業界での仕事を念頭においた実習内容となり自身の意識も進路に向けたものとしスタッフワークを身に付ける。実習にのぞむ姿勢も、社会にて協働するということを念頭におきルールやマナーもスタッフワークの一環であるという認識をもつ。実習課題は記録し、それが就職活動において資料や自己PRになるので、完成度や精度を意識したものを制作していく。企業研究も並行し目指す分野や企業のニーズに沿ったものの実習内容とする。											
到達目標											
前期での実習成果が学生の就職活動において大きな比重を占めるので、積極的に行い、高い意識をもつ。実習課題や製作物、レポートといったものは、各学生が記録し保管する。そうすることにより慌てることのない就職活動にもつながり、継続することを目標とし各々のスタッフワークの修練度を確認する。実習日を利用しインターンシップ活動も行えるので、社会に出て、仕込みからリハーサル、本番公演を行うことにより実践力を身に付ける。											
授業方法											
業界へと進み、身に着けておかなければいけないスタッフワークを実習する。1年次に学んだことが落とし込まれているかの確認をしながら、よりブラッシュアップされた内容を学ぶ。											
成績評価方法											
実習課題 平常点	60% 40%	各セクションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する。 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。出席率も反映される。									
履修上の注意											
前期で行う実習成果が就職活動やインターンシップに大きく影響してくることを意識する。希望する企業を明確にし実習を通して傾向と対策を立てられるとよい。作業しやすい服装・実習ジャンパー着用。アクセサリははずし、長い頭髮はまとめる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。											
回数	授業計画										
1週 (2回)	振り返り										
2週 (2回)	体験入学スタッフワーク 1										
3週 (2回)	体験入学スタッフワーク 2										
4週 (2回)	進路										
5週 (2回)	進路による課題研究										

2023年度 日本工学院専門学校	
演劇スタッフ科	
スタッフワークショップ 3	
6週 (2回)	進路による課題研究発表
7週 (2回)	分野別用語 1
8週 (2回)	分野別用語 2
9週 (2回)	実機取扱い 1
10週 (2回)	実機取扱い 2
11週 (2回)	実機仕込み 1
12週 (2回)	実機仕込み 2
13週 (2回)	中間発表作品研究
14週 (2回)	中間発表仕込み
15週 (2回)	中間発表稽古